

第5回(平成18年度)IODP部会執行部会・議事録

日時：2006年9月25日(月) 13:30~16:30

場所：海洋研究開発機構東京事務所 大会議室

出席予定者(敬称略)

執行部：鈴木徳行(北海道大学) 阿波根直一(北海道大学) 石橋純一郎(九州大学)
北里洋(海洋研究開発機構) 山田泰広(京都大学) 山本啓之(海洋研究開発機構)

オブザーバー

MEXT：宿利一弥 杉山真人
海洋研究開発機構：川村善久 木戸ゆかり 笹山岳大
事務局：山田泰 長橋徹 加賀谷一茶

欠席予定者(敬称略)

荒井晃作(産業技術総合研究所) 海野進(静岡大学) 佐藤時幸(秋田大学) 佐柳敬造(東海大学)
白井正明(東京大学海洋研究所)

議事次第

1. 報告事項

国際SAS関連

- (1) SASEC alternate 委員選出報告 [鈴木部会長/事務局]
- (2) 国際SAS委員会・パネル委員ローテーションルール(案)について [事務局]

乗船関連

- (3) New Jersey 追加乗船研究者募集結果 [阿波根部会長補佐/事務局]
- (4) NanTroSEIZE(Stage 1)乗船研究者募集経過 [事務局]

普及/広報活動関連

- (5) IODP WSについて(ゴールドシュミット国際会議) [石橋委員]
- (6) ISC2006(国際堆積学会)IODP展示ブースについて [事務局]
- (7) J-DESC News Letter vol.01 について [事務局]

2. 審議事項

国際SAS関連

- (1) SPC 委員(2名)選出・推薦について [鈴木部会長/事務局]

IODP関連

- (2) IODP Visiting Ambassador Program対応について [鈴木部会長]
・依頼するホスト機関, J-DESCによる支援方法, 他の行事との同時開催等について
- (3) Review of IODP-MIについて [鈴木部会長/事務局]
- (4) IODPプレスリリースについて [事務局]

普及／広報活動関連

- (5) 第 2 回IODP成果報告会について [阿波根部会長補佐 / 石橋委員 / 事務局]
 - ・旅費支援, 報告内容とモラトリアムとの関係, プレスリリース, アブストラクト集の作成等
- (6) SSEP札幌会議への大学院生の出席(派遣)について [石橋委員 / 事務局]
- (7) J-DESC・E&O TF 担当者について [川村オブザーバー]

3 . その他

- (1) 第 2 回SASEC会議レセプションでのJ-DESC代表者の挨拶について [事務局]
- (2) その他の報告事項など
 - ・H18年度会員提案型活動経費辞退について [事務局]
- (3) 次回の執行部会日程

[] は説明担当者(予定)

配布資料

- 資料 5-1 国際 SAS 委員会・パネル委員ローテーションルールについて(案)
- 資料 5-2 国際 SAS 委員会・パネルローテーション表(案)
- 資料 5-3 Exp.313 New Jersey Margin / NanTroSEIZE(Stage1)の乗船研究者状況
- 資料 5-4 J-DESC News Letter Vol.01 について
- 資料 5-5 SPC 委員候補者リスト
- 資料 5-6 IODP Visiting Ambassador Program 2006-2007
- 資料 5-7 IODP-MI First Triennium (FY2004-2006) Review / J-DESC Comments
- 資料 5-8 IODP 成果報告会開催のお知らせ
- 資料 5-9 H18 年度会員提案型活動経費辞退について

参考資料

IODP 関連英略語集 (平成 18 年 9 月改訂版)

1. 報告事項

国際SAS関連

- (1) 国際SAS委員会・パネル委員ローテーションルール(案)について [事務局]
前回の執行部会(メール会議)での修正内容を反映させた修正案を各専門部会、国内委員会へ配布し、年内に承認を行う予定との報告が、事務局よりなされた。

乗船関連

- (2) New Jersey 追加乗船研究者募集結果 [阿波根部会長補佐/事務局]
阿波根部会長補佐より、来年に延期された本航海の追加乗船研究者募集結果について説明がなされた。
本募集の経緯は、以前の募集にてSedimentologistが多く応募してきたため、他の専門分野を募集するために追加募集を行った。
現在、K-IODP分を含めた6名をJ-DESCより推薦中である。

- (3) NanTroSEIZE(Stage 1)乗船研究者募集経過 [阿波根部会長補佐/事務局]
9月25日現在の応募者数が2名のみであること、メーリングリスト、科学推進専門部会等で引き続き応募促進を行っていくことが阿波根部会長補佐より報告された。
また、アメリカSODVの本航海への参加見通しについて、川村オブザーバーより報告がなされた。

普及/広報活動関連

- (4) IODP WSについて(ゴールドシュミット国際会議) [石橋委員]
本WSへ参加された石橋委員より、オーストラリアがIODPへの参加を見送ったとの報告がなされた。また、MARGOが引き続きオーストラリアのIODP暫定National Officeの役割を継続することが報告された。
- (5) ISC2006(国際堆積学会)IODP展示ブースについて [事務局]
J-DESC、JAMSTEC(IFREE, CDEX)、高知コアセンター共同による同学会でのIODP展示ブース設置状況について、事務局より説明がなされた。
なお、本活動は、IODPの電子メールNewsletter「E-News」に記事として掲載された。
- (6) J-DESC News Letter vol.01 について [事務局]
事務局より、本ニュースレターの製作進捗状況、掲載予定の寄稿文、発行予定時期等について説明がなされた。最終構成案については、10月初旬に各執行部へ配布予定。

この後、鈴木部会長より、平成19年度科学研究費補助金時限付き分科細目として、「地球システム変動」が2年間の限定で設けられたとの報告がなされた。

2. 審議事項

国際SAS関連

(1) SASEC alternate 委員選出報告 [鈴木部会長 / 事務局]

鈴木部会長より、SASEC 代理委員候補として川幡氏（東京大学海洋研究所）と徳山氏（東京大学海洋研究所）が選出されたことが報告され、執行部により承認された。

(2) SPC 委員(2名)選出・推薦について [鈴木部会長 / 事務局]

鈴木部会長より、標記の件について、任期満了により退任される委員2名の後任として、現在4名の候補が選出されていることが報告された。

また、現SPC委員の北里氏、山本氏より、選出される委員に希望される専門分野について説明が行われ、選出に向けて引き続き検討していくことが確認された。

IODP関連

(3) IODP Visiting Ambassador Program対応について [阿波根部会長補佐 / 事務局]

阿波根部会長補佐と事務局より、標記の件について説明がなされた。

- ・本Programは2006年10月より始まる予定である。
- ・11月の第2回SASEC会議（Odawara, Japan）にて議論が行われる予定であり、その結果を待つ。
- ・国内で行われる場合は、AESTOとホスト機関にて費用の負担を行う予定。
- ・旅費については、ほとんどの場合、IODP-MIが負担する予定。

(4) Review of IODP-MIについて [鈴木部会長 / 事務局]

標記の件におけるJ-DESCの対応について、鈴木部会長より説明がなされた。

- ・Coffin氏（東京大学海洋研究所）を通して、J-DESCの意見書を提出する予定。
- ・意見書では、以下の内容を盛り込む予定である。

国際パネルの委員数の削減、英語圏以外から提出されたプロポーザルの審査における配慮の要求

乗船研究者決定にかかわる諸問題として、MSP（特定任務船）航海における航海日程の不安定さの改善の要求

IODP-MI 札幌オフィスの乗船研究者決定にかかわる諸問題として、MSP（特定任務船）航海における航海日程の不安定さの改善の要求

SASECパネル立ち上げに対する評価

Mission方式航海に対する評価

(5) IODPプレスリリースについて [事務局]

標記の件について、事務局より説明がなされた。

- ・ Exp.301、302は、日本側に事前の連絡がなくプレスリリースが行われてしまった。
- ・ 7月のNSF-MEXT会議にて当問題が話し合われたが、その後、Exp.302にて、日・米(IODP-MI) に事前の連絡がないまま、再度プレスリリースが行われてしまった。
- ・ 事務局では、プレスリリース体制が整うまで、日本の乗船研究者がプレスリリース実施情報を事前に入手した場合、速やかに連絡していただく暫定的な体制を構築することを検討していきたい。

普及 / 広報活動関連

(6) 第 2 回IODP成果報告会について [阿波根部会長補佐 / 石橋委員 / 事務局]

標記の件について、石橋委員より説明がなされた。

- ・ 第 2 回IODP成果報告会は、10月28日(土) にJAMSTEC東京事務所にて開催されることが決定した。
- ・ 発表は、Exp.304/305 (小原氏)、Exp.306 (金松氏) を中心に行い、「ちきゅう」の最新情報もトピックスとして紹介する。
- ・ 発表内容は船上成果を中心に紹介し、モラトリアムに抵触しないよう注意する。
- ・ 開催 2 週間前を目標に、プレスリリースを行うことを検討する。
- ・ IODP-MI主催 Workshop報告として、WSの参加者による講演を検討する。
- ・ 当会講演者へは、旅費支援を実施する。
- ・ 今後の開催候補として、連合大会でのセッションとして開催することを検討する。

(7) SSEP札幌会議への大学院生の出席(派遣)について [阿波根部会長補佐 / 石橋委員]

標記の件について、阿波根部会長補佐と石橋委員より説明がなされた。

- ・ アメリカでは、Science Program Coordinatorの養成を目的とした、国際パネルへの学生参加が盛んに行われている。
- ・ 参加人数枠を決め、今回は北海道大学から参加者を募集することを検討する。
- ・ アメリカの学生は、参加後にプレゼンテーションにて参加報告を行っている。日本の学生にも何らかの報告を行ってもらうこととする。

(8) J-DESC・E&O TF 担当者について [川村オブザーバー]

川村オブザーバーより、CDEXへ移られた木戸氏が、当面の間J-DESC・E&O TFを担当し、今回のIODP E&O TF Meetingへ参加するとの報告がなされ、執行部会により了承された。

3 . その他

(1) 第 2 回SASEC会議レセプションでのJ-DESC代表者の挨拶について [事務局]

標記の件について、事務局より説明が行われ、山本委員がJ-DESC代表者としてレセプションに参加し、挨拶を行うことが内定された。

(2) その他の報告事項など

- ・平成18前期会員提案型活動経費の採択辞退について
本活動経費の応募者の1人が、当経費の規定により、旅費に充当できる経費の割合が3割に制限されることを理由に、採択を辞退されたとの報告が事務局よりなされた。
今後の継続審議として、次回のJ-DESC総会までに対応を検討していきたい。

- ・SPC会議へのJ-DESCリエゾン派遣について
SPC会議へは、各国のNational Officeが情報収集のためリエゾンを派遣しており、J-DESCも見習ってリエゾンを常に派遣したほうが良いとの指摘が、北里委員よりなされた。
リエゾン派遣の旅費等については、SPCの旅費を支援しているMEXT、AESTOと検討していく必要がある。

- ・J-DESC会議へのIODP-MIオブザーバー参加について
IODP-MIと円滑な意思疎通、情報共有を行うため、執行部会等にIODP-MI札幌オフィスのメンバーを招いてはどうかとの指摘が、北里委員よりなされた。
特定のNational Officeの会議に参加してもらうのは難しく、以前にも問題になったことがある。
理由を説明した上で、J-DESCとして正式な依頼をIODP-MIのVice Presidentに行えば、コーディネータを派遣してもらうことも可能である。
メールベース（英文）でのやり取りは、特に問題ない。

- ・高知コアセンターの活動とJ-DESCの関わりについて
高知コアセンターの活動において、IODPでの利用促進、コア分析スクールへの講師の派遣等、J-DESCとして協力できることを検討していくべきとの指摘が、北里委員よりなされた。
高知コアセンターの共同利用機関である高知大学は、J-DESCの会員であり、同大学の池原氏等がJ-DESCメンバーとして情報提供等をしていただいている。
更なる交流として、J-DESCによる高知コアセンターでのスクールの実施、シンポジウムの開催等を検討する必要がある。（会員提案型活動経費の活用等）

(3) 次回の執行部会日程

第2回IODP成果報告会の前日（10月27日）を候補として調整していくことが確認された。

以上